

1. 環境、安全、お子様の安心感に対する極めて高い評価

お子様が過ごす環境や、基本的な安全・衛生に関する項目、そしてお子様自身の安心感について、満点(4.00点)またはそれに近い極めて高い評価を得ています。

- 満点(平均スコア **4.00**点)の項目:
 - **Q1.** お子さんが過ごす部屋やスペースの広さ・雰囲気
 - **Q36.** お子さんは、安心して通所していますか。
- 肯定的回答率 **100%** の項目例:
 - **Q4.** 室内は清潔で、お子さんが心地よく過ごせる環境だと感じますか。
 - **Q33.** 感染症や安全面の対応がきちんと取られ、安心して通わせられると感じますか。
 - **Q32.** アレルギーや服薬、発作などについて、事前に十分な確認や対応がされていると感じますか。(平均 3.92点)
- 示唆: 事業所の環境整備と、お子様への安心感の提供、そして緊急時対応を含む基本的な安全管理体制が、保護者から非常に高く評価されています。

2. 改善の余地がある「外部連携」と「将来の移行支援」

全体平均(3.69点)と比較して、特に外部機関との連携と就園・就学などの移行支援に関する項目で、評価が大きく下がっています。これらは、今後のサービス改善において最優先で取り組むべき焦点です。

- 最も低い評価の項目:
 - **Q22.** 医療・保育・教育機関などと連携しながら、お子さんに合った支援が行われていると感じますか。(平均 **2.92**点 / 肯定的回答率 **69.2%**)
 - **Q23.** 将来の就園・就学などに向けて、関係機関や学校とのつながりを感じますか。(平均 **3.00**点 / 肯定的回答率 **69.2%**)
- 示唆: 個別の支援の満足度が高い一方で、保護者は事業所がより広範な関係機関(医療、学校など)と連携し、お子様の将来を見据えた支援を行っているという実感を十分に持てていない可能性があります。連携の実態の可視化や、具体的な移行支援に関する情報提供の強化が必要です。

3. チームによる支援計画決定の認識不足

職員間の連携に関する質問の中でも、**「支援計画の決定プロセス」**に関する項目が相対的に低い評価となりました。

- **Q13.** 支援内容は、複数の職員がチームで話し合い、お子さんに合った形で決めていると感じますか。(平均 **3.15**点 / 肯定的回答率 **76.9%**)
 - 示唆: 実際の支援はチームで行われていても、その決定プロセスが保護者から見て不明瞭である可能性があります。「チームで話し合っただけ」という事実を、面談や書面を通じて保護者に具体的に伝えることで、信頼感を高めることができます。
-